



北国街道・牟礼宿にある徳満寺の鐘。年越しには煩惱の数だけ鐘をつきます。
2024年がみなさんにとって良い年になるようにと願いを込めて。

photo 速水 克明

特集

後を継ぐ… 飯綱町が好きだから

主な掲載記事

- 後を継ぐ…飯綱町が好きだから …………… 2～5
- おじゃまします・あっちこっちこの町 …………… 6
- いいづな時空散歩・ど〜こだ!? …………… 7
- 公民館ダイアリー・掲示板など …………… 8～10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 …………… 11
- はぐくむ …………… 12

「ど〜こだ!?」では、答えを募集しています！ぜひ、ご応募ください!!



二代目の松田竹のさんと松田きよ子さん（平成8年頃）。丸為旅館の前で



初代はる子夫人と娘の真由美さん。店先に「富士好」ののれん（昭和45年）



ツチクラ住建創業時の社屋前（昭和48年）

後を継ぐ…飯綱町が好きだから

我が町にも先代から引き継いでいる事業所があります。
今回は三代目、四代目としてチャレンジしている方を取材しました。
ただ単に「親の後を継ぐ」わけではなく、
そこにはいろいろな想いがあるように感じました。

編集委員 入口 梓、正村 明菜、大塚 幸枝、高橋 弘之

変えていくよりも、 祖父や母の残してくれた

ものを守りたい

味処ふじよし 西沢弘樹さん(三代目)

「ふじよし」といえば、みそかつやハンバーグなど、ポリユームたっぷりのメニューが人気です。1970年に西沢龍衛さんが「富士好食堂」を開店し、二代目は娘の真由美さん。2022年には真由美さんの次男、弘樹さんが地元に戻り、ふじよしの味を受け継ぎました。

——まだ弘樹さんが子どもだった頃、お兄さんと配膳のお手伝いをしていましたね。その頃は、家の仕事をどんなふうに見ていましたか。

率直に言えば「こんな忙し

いのは嫌だな」という意識があったかもしれません。

——いつかはお店を継ぐという気持ちはあったのですか。

選択肢の一つではあったのですが、小さい頃は野球を

でプロになりたいと思っていました。中

学と高校でも野球を続けて

進路を決める高校生の時が一つの分岐点

でした。野球を突き詰めるか、家を継

ぐために専門学校に行くか。ただ、ありがたいことに大学の野球部に声をかけてもらって、愛知県の大学で野球を続けることになりました。

——大学卒業後は高校の先生をしていたのですよね。

はい。松本の高校で地理歴史を教えて、野球部の顧問をしていました。

——地元に戻るといいう気持ちはあったのですか。

地元のコミュニティの良さが心の中であって、いつかは帰ってこようと思っていました。

——今のお父さんが飯綱町だったので子育てのことも考えたと地元がいいという気持ちもありました。ただその頃は

帰っても教員を続けようと考えていました。

——そこから家業を継ぐことを決意されたきっかけは。

コロナですね。店も大打撃を受けて、これからどうするかを家族で話すようになりま

した。店を畳むという選択肢も出てくる中で、50年も続い

て、お客さんがいっぱいいた店が地元からなくなるのは寂しいと思ったんです。ま

たので過疎についても生徒に教えますが、帰省するたびにシャッターが増えて、まさに

地元はそういう地域になって

いる寂しさもありました。それで29歳の時に子どもが生ま

れて覚悟を決めたという感じですね。野球で好きなことを

やらせてもらったので、ここからはみんなのために道を選

んでいこうと決断しました。

——戻ってこられて、お店のリニューアルオープンから

ちょうど1年が経ちましたね。ただ、僕の中ではリニュー

アル1年目ではなくて、創業54年目なんです。周りの方に

新しくなってよかったと言ってもらえて、それはとてもあ

りがたいですが、僕の中では、僕が帰って来たからよくなっ

たわけじゃなくて、今までよ

かったです。僕が入れていただいたのだと思っていま

す。なかなか親にこういう話

はできませんが(笑)。結果論

になります。もし高校を出て

専門学校に行つてどこかの

店で修業をして継いでいたら、

メニューも全て変えていた

はず。でもそれだったらお客

さんが離れて、潰れて

いたかもしれないと今はす

く思います。経験がないから

こそ、柔軟に考えられるの

など。変えていくというより

も、今まで祖父と母が残して

くれたものを守っていく意識



人気No.1のみそかつ。甘めの味は先代のこだわりです



「いずれ野球の指導や教育でも町に貢献できたら」と弘樹さん

父には「向いていない」と

言われたけれど…

ツチクラ住建(株) 土倉進太郎さん(三代目)

元教員という異色の経歴を持つ進太郎さん、お父さんに似て身長が高く幼い頃からバレーボールに励んでいたそうです。その経験を活かし大人になってからもVリーグで活躍、ファンも付く人気者です。また、教員時代にはバレーボール部の顧問を務め教え子たちにも大人気の先生でした。家業は建築業ですが、全く違う業種からの三代目とはどのような経緯をたどったのかお話を聞いてみました。



二代目、三代目、そして父と子

ました。

——家業を引き継ぐことを意識したのはいつごろですか？

家業を継ぐ意識というよりは親が社長なら自分もならないければいけないという思いの方が強く、高校3年生の夏頃までは父親と「継ぐ継がない」の話なんてすることもなく勝手に継ぐ予定でいました。ですが3年の夏、父親に進路を相談した際「建築業は向いていない」と言われたのをきっかけに進路変更、当時尊敬していた担任の先生と同じ数学を教える道を選んだのが教員への第一歩になりました。

——実際にこの仕事をして大変なことはありますか？

現在営業職をしておりますが、自分の足で町内を周り空き家を探すとこから始めますが、自分の足で町内を周り空き家かな？と思う家を見つけたら近所の方に世間話のついでに聞いてみたりと、とにかく自分の足で、自分の言葉で、自分の感覚で探さなければならぬので大変です。

前職が子どもたちに教える立場だったので生徒たちへの上から教える対応が染み込んでしまっていて、この仕事を始めた頃はそのままの態度や

話し方でお客様に接していたので怒らせてしまうこともあり、教員と営業職の接し方のギャップにすごく悩みました。私のお客様への対応を見て妻に叱られることもしばしばあり凹むこともあり(笑)。

——教員から現在の仕事に転職してどう感じますか？

教職はやり甲斐もあり楽しいことも多かったですが、自分が頑張っても成果が目に見えづらく感謝されるのは卒業式だけで、あとは大体嫌われることが多いので(笑)。自分の努力が報われる瞬間がなかなか感じられず自分としては納得いかないことも多かったです。しかし、営業職は頑張ればお客様の言葉だったり(笑)と自分の努力の成果が目に見えて現れるのでとてもやりがいを感じています。知らなかったことを勉強するいい機会にもなり、建築業の専門的な知識やお客様との距離感、自分ができなかったこともできるようになってきて楽しいです。

——社長の息子として仕事をやる上で気をつけていることはありますか？

社長の息子だから他の従業員の皆さんにどう接したらいいかは悩みますし、気をつけていることです。ウチは部長とか課長とかいなくて、社長以外は皆同じ平社員なので平社員として成果をあげてやろうと必死です(笑)。

最初から最後まで楽しい雰囲気です(笑)。

お客様との「コミュニケーション」を密に取り丁寧な接客で、ときには飯綱町の大変さも隠さずに話す営業トークを武器に三代目社長になるべく奮闘中です。



ツチクラ住建
ホームページ



ツチクラ住建
YouTube



ツチクラ住建
Instagram

2人のことが大好きになって、宿を残したいと思うようになりました

丸為旅館 中嶋彩花さん（四代目）

丸為旅館は、今から100年以上前に牟礼駅前に創業。かつて駅前には3軒の宿がありましたが、今は丸為旅館を残すのみ。平成7年に引き継いだ三代目の松田きよ子さん・悦典さん夫妻が旅館の将来を模索するなか、「この場所を残したい」と手をあげたのが、中嶋彩花さんです。

——彩花さんは飯綱町が地元ではあるけれど、松田さんとは面識がなかったのですよね。
はい。子どもの頃ここに旅館があることは知っていました。が、営業しているかどうかはわかりませんでした。

——そこから本格的に継ぐようになるようになった経緯は？

——そう外に出ていましたが、2021年に地元に戻ってツチクラ住建に入社して、仕事で丸為旅館に関わるようになりました。その中で、きよ子さんから旅館をこれからどうしていくかという相談を受けて、話し合ってから旅館の部屋を活用するためにADDRESS（※）に登録しました。そこからネットの予約管理やお客さんの対応などで私が丸為旅館に出入りする時間が増えていったんです。その中で2人のことが



彩花さんの娘の絃（いと）ちゃんは3月で1歳に

大好きになって、2人が大事にしてきた宿を残したいという気持ちが生れました。会社は入社から1年を機に辞めました。そのタイミングできよ子さんに旅館を継ぐことを前提に、正式に旅館業のお手伝いをさせてほしいと言いました。

——彩花さんは、もともと宿の仕事に興味があったのでしょうか。

——人が集う場所を自分で作りたいというのがあって、宿泊業には興味がありましたね。

——きよ子さんは、どんな気持ちで受け入れたのですか？

（きよ子さん）自然に宿の仕事に入ってきてくれていたから、私も期待はしていません。でも若いし気持ちも変わっていくかもしれないから、様子を見ながらやってみればいいという感じでした。

——もともと飯綱町に戻るつもりだったのですか？

地元は出たかったです（笑）。設計士になりたいと大学で建築を専攻しましたが、「戻ってくるもんか！」みたいな感じで県外に行きました。ただ、コロナで大学に通えない間、やりたいことが変わってきて、

建物という外側を作る人ではなくて中において人を集める人になりました。それで地元に戻ってみようかと。

——本格的に宿の仕事をはじめてみてどうですか？

もともと人が好きなので、性に合っているとは感じました。ただ、やっぱり宿泊業はすごく大変ではあります。よくこんな長く2人はこれをしてきたな、本当にすごいなと思いました。手伝いはじめた。でも私には妊娠をして、できなくなりました。今もたくさんあります。今も2人が歩みを合わせてくれたのは、すごくありがたかったですね。

——松田夫妻だからこそ、という部分もあるのでしょうか？

そうですね。きよ子さんとお父さんじゃなかったら、たぶん関わっていないと思います。——これから未来をどんなふうに描いていますか？

イベントをしたり、お土産スペースを作ったり、そういうこともしてみながら宿として残していきたいですね。自分が一生懸命やるほど、同じ

気持ちでここを好きだと言ってくれる人が現れると思っていて、そういう人に次のバトンをパスすることも意識しながら10年は続けたいです。これを好きな人、残したい人、思っている人が助け合いながら宿を運営していく形が理想だと思っています。来年はまず、自分と一緒に走ってくれる仲間を見つけないです。



彩花さんが製作したのれんの前で、きよ子さん、悦典さんと共に

飯綱町の若者が一度町を離れても、ひと回り大きくなつてまた戻ってきてくれるのは嬉しいことです。この町には若者だけでなく、それぞれの場所で輝いている人がたくさんいます。だからこの町はもっともっと発展していきたいですね。
飯綱町の未来は明るい！

おじゃま
します

しめ縄作り (坂上区育成会)



むずかしいなあ

12月2日(土)、坂上区育成会行事で、しめ縄作りが行われました。コロナ禍前にも門松作りや、しめ縄作りが冬の恒例行事となっており、4年ぶりの開催となったそうです。

野村上地区の小林勝雄さんを講師に迎え、保育園年少から小学6年生まで13名の子ども達が参加し、日本の伝統行事を体験していました。

参加したお子さんの感想です。

「初めてしめ縄を作りました。とても大変で難しく、手伝ってもらわないとできませんでした」「お父さんと一緒に4つも作ったので、爺ちゃんの家にも飾ろうと思います」「また来年も作りたいな」。

参加した保護者も初めての経験する方が多かった様子です。「実際にやってみると教えてもらった通りにはいかず、子どもからもダメ出しをもらいながら、何とか完成しました。見てくれば、いまいのですが、楽しい時間を過ごせました」「普段は子どもと一緒に何か作ったりしないので、良い機会となりました」「毎年作りたいですね」「もっと大きなものも作りたいです」。

役員の方は、「久しぶりに親子で協力し合いながら楽しそうにしている姿を見ることができ、開催して良かったと思います。片付けが大変でしたが、来年も伝統的な行事



完成したよ!

を取り入れていきたいと思っています」とおっしゃっていました。

皆さんの感想にあったとおり「難しい」との声があちこちから聞こえていきましたが、協力しながら作り上げ、新年を迎える準備ができました。しめ縄はホームセンターなどで簡単に買うことができますが、自分で作るのと愛着がわいてよさそうですね。

(木賀田宏之)



タイトル/近藤 理香

No.72 おそば打ってます

そば処よこ亭の隣に建つそば打ち小屋では、現在9人の打ち手さんが交代で作業しています。こちらでは、短いし棒一本で四角にして仕上げていく、よこ亭流の技法が伝承されています。

道路に面した大きな窓からは、そば打ちの様子を見ることが出来ます。

8~9月、そばの花が満開になると、町のあちこちに白い絨毯を敷いたような風景が広がり、飯綱町にはたくさんそば畑があるのだなあと改めて感じます。

町内で栽培されたそばの実は、この小屋で毎日、ふるい、こね、のし、切りの作業を経て、店の釜で茹でられ提供されています。

美味しいそばの条件「挽きたて、打ちたて、茹でたて」を「三たて」といいますが、収穫したては風味も増して、穫れたての新そばは「四たて」の味という地域もあるそうです。

まさに今、新そばの味を楽しむのはいかがですか？

(宮澤)

いいづな時空散歩

Vol.23

「天気界」と「一里一尺」の話



北西から迫りくる雪雲

冬は北西から雲が迫ってきて雪模様になります。また、飯綱町では雪なのに、長野市街地では晴れていることがよくあります。これらの現象には、天気の世界が関係しています。地理学分野では中野市の「高社山」と、大町市の仁科三湖のひと

つ「中綱湖」を結ぶ線上に「高社—中綱湖線」という天気境界線(天気界)の存在が知られています。この境界線は飯綱町では髻山の近くを通ります。日本海から吹き付ける季節風は、西頸城の山々にぶつかり上昇気流を生じて雪雲をつくりませんが、日本海側に発達する雪雲の南東境界が天気界なのです。当地域には昔から「一里一尺」ということわざがあります。それは信越国境に向かって一里(約4km)進むと一尺(約30cm)ずつ雪が深くなるという経験則です。じつは、一斉に広範囲の積雪深観測をしてみると、天気界からの距離と積雪深の間には、今もかなり正確に「一里一尺」の関係があることが確かめられます。

かつての真冬の北国街道では、小玉坂から信越国境を越えて高田方面にゆくのは命がけの旅でした。当時の人にしてみれば、降雪はとも恐ろしい自然現象だったと思います。でも、春になれば大量の雪が解けて山に浸み込み、広い水田をうるおしてくれます。その大きな恵みは、昔も今も変わりません。(いいづな歴史ふれあい館長 富樫均)

〜シリーズ人権〜 ねがい

109

今年も収穫のとき。りんご畑の樹の下で、りっぱに実ったりんごを見上げてみると、囁きがきこえてきました。

A「私たち、いよいよ旅立ちだね。今日まで春の寒さや

夏の日照りでも歯をくいしばって、よくここまで来たよね」

B「がんばろつと声かけ合ってきた仲間のおかげだよ。みんなありがとう!どこへ行っても忘れないよ」

りんごの囁き

A「そうだね。見た目だけでなく味で評価されたいのね」

みなさんはどんな囁きが聞けたでしょうか。お寄せいただけるとうれいす。みんなで語り合えるとなお、うれしいです。

C「もうううけど、規格っていうので分けられるってきいたよ。どこへ行くのかな?」

C「でも、おれ心配だなあ。みんなよりちょっと小さいし、少しあざがあるからな」

A「心配かもしれないが、おいしさはみんな同(おんなじ)。ご主人さんも味は最高だと言っていたよ」

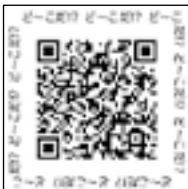
B「そうだよ。私たちはみんな顔・形など少しずつ違っけど、おいしさは誰も自信持ってもいいよ」

(人権擁護委員 中村芳人)

108号「ど〜こだ!?!」 答え

飯綱町役場の町長室です。

■下のQRコードを読み取ると108号の答えの位置図が表示されます。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆様のご応募お待ちしております。

応募形式：お好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館報の感想をご記入ください。

応募先：〒389-1211飯綱町大字牟礼1989
飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切：2月29日(木)

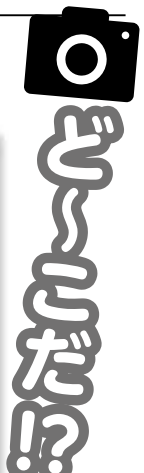
抽選結果：プレゼント発送をもって当選とします。
※なお、お電話での受付は行っておりません。

これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 斑尾山と鳥居川としなの鉄道が見える唯一無二の場所



Photo 西村 啓大



図書館まつり

飯綱町民会館にて11月11日から19日まで図書館まつりを開催しました。図書館まつりの初日の午前中はおはなし会でした。お子さんとそのご家族の方の沢山のご参加をいただき、賑やかなスタートとなりました。

期間中は、毎年恒例となっている、本を借りられた方への福引抽選会やブックリユース(古本市)、2階の視聴覚室では企画展示があり、おすすめ本紹介、俳句・川柳の展示をはじめ、様々な本に更に触れていただくために、本の福袋、まだ誰にもページをめくられていない本、今年映画化した本の展示と貸出をいたしました。

おすすめ本の紹介では町内の方や小学校、中学校、北部高校それぞれの図書委員の皆さんや、飯綱町議会議員の方々にも紹介をいただきました。飯綱町議員のドキュメント本などの本が紹介されており、紹介された方々の様々な一面が見えた展示となりました。

そして、週末には4年振りにイベントが行なわれ、ブックカフェではお茶をしながら、参加者がそれぞれ持ち寄った好きな本を紹介し、語り合いました。

また、方言カルタ取り大会は子どもから大人まで参加いただき、読み手の方言とその解説を聞きつつ、札を取る真剣な勝負となりました。時には札を取れた子を称え合うような場面も見られ、とても和やかな会となりました。

最終日には、和紙を使いブックカバーやしおりを作りました。和紙を重ねたりなど、それぞれの工夫が光る品ができました。

期間中は普段以上に様々な年代の方に訪れていただき、図書室の存在も知っていただく良い機会となりました。



第9回飯綱町小学生駅伝競走大会

11月3日(金)に毎年恒例となった飯綱町小学生駅伝競走大会が開催されました。町内及び信濃町の小学生がチームを編成し、7チームが参加しました。今年度は、長野市出身の実業団マラソンランナーの小田切亜希さんにお越しいただき、選手と一緒にコースを走ってもらったり、走り方教室では子どもたちに正しい走り方の指導を行っていただきました。



大会結果については次のとおりです。

○総合順位

第1位 アタッカーズ(松橋佑真、小林優太、伊藤琉偉、寺島悠生、大川凜人、名古遼平、瀧野我空、岩本蘭真)

第2位 牟礼陸上A(山田あこ、内田淳輝、山田一心、竜野柊、佐藤友紀、宮原一篤)

第3位 信濃町クロスカントリースキークラブ(渡邊珠樹、片山凜星、北川詩乃、渡邊桃悟、石田新渡邊雛子)

○学年賞

1年 男子：該当者なし 女子：中山怜南

2年 男子：山田一心 女子：笠井愛菜

3年 男子：渡邊珠樹 女子：三ツ井歩花

4年 男子：石田新 女子：山田あこ

5年 男子：佐藤巧武 女子：池田安輝

6年 男子：名古遼平 女子：仲俣綾乃

○最速賞

男子：松橋佑真(6年) 女子：渡邊雛子(5年)

第12回町民運動会

10月22日(日)、第12回町民運動会がふれあいパーク運動場において開催されました。今年度は5年ぶりの町民運動会となり、半日開催でありましたが、大勢の町民の皆さんにご参加いただきました。オープン参加種目やラッキープレゼント抽選会、飯綱権現太鼓の発表等があり、会場は大いに盛り上がりました。

最終種目の男女混合リレーでは選手はもちろんのこと、応援にも熱が入り、各分館席から大きな声援が飛び交っていました。出場選手や応援してくださった分館の皆様、運動会実行委員ほか、運動会に携わっていただいた皆様、誠にありがとうございました。



■ いづなスポーツクラブからのお知らせ

○第17回ラジボール卓球大会

日 時：令和6年3月10日(日) 午前9時～

場 所：三水B&G海洋センター体育館

チーム編成：1チームダブルス3組で男女混合とします。

募集チーム数：先着16チーム

締切日：令和6年3月3日(日)までに申込用紙を三水B&Gへ提出してください。

■ 中学校図書館及び公民館図書室よりお知らせ

中学校図書館・公民館図書室は、蔵書点検のため、次の日程で臨時閉館とさせていただきます。

○中学校図書館 令和6年2月26日(月) から2月28日(水) まで

○公民館図書室 令和6年3月11日(月) から3月13日(水) まで

ご利用いただいている皆さまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

■ 2023 図書館まつり俳句と川柳受賞作品

俳句の部(大人)

最優秀賞 嫁さんのビーバー背負う案山子かな

寺島美恵子

優秀賞 老夫婦向き合うカフエや菊香る

小林紀子

入 選 昨日より今日の紅葉の鮮かさ

日野秀静

俳句の部(子ども)

優秀賞 牟礼宿猫の集会冬近し

波沢惇平

優秀賞 枯れ葉舞うざわり見とれて手にほうき

原田明莉

優秀賞 ま夜中に空花ばたけまんかいだ

三ツ井歩花

川柳の部(大人)

最優秀賞 産直の棚にそおつと我が野菜

匿名希望

優秀賞 マスクとれこの顔だったかこの人は！

匿名希望

川柳の部(子ども)

優秀賞 妹に本を読んだら眠くなる

大塚希ノ香

優秀賞 すてきだなどびペンギンはあるのかな

近藤采色

優秀賞 つづきでよみたいよみたいもつとみたい

竹内琉馬

※審査 俳句(大人)・・・(公社)俳人協会会長野原支部評議員

俳句(子ども)・川柳：図書館まつり実行委員会



中学校図書館新着本

○星を編む 風良ゆう

○京都東山邸の小鳥遊先生 望月麻衣

○ツミデミック 一穂ミチ

○一億円の犬 佐藤青南

○おでんオデッセイ 山本幸久

○神と黒蟹県 糸山秋子

○野火、奔る あさのあつこ

○歌われなかった海賊へ 逢坂冬馬

○わたしに会いたい 西加奈子

○きこえる 道尾秀介

○台北アセット 今野 敏

○夜明けのはざま 町田その子

○少女が最後に見た蛍 天祢 涼

○こちら空港警察 中山七里

○鋼の絆 五十嵐貴久

○これだけは知っておきたい日本の名作 山口謠司

○農はいのちをつなぐ 宇根 豊

○農家が教える緑肥で土を育てる 農文協 編

○なるようになる 養老孟司

公民館図書新着本

■一般図書

★今日、誰のために生きる

ひすいこたろう

SHOGEN



アフリカタンザニアの小さな村、ブンジュ村にペンキ画を学びに行ったSHOGENが、ブンジュ村の人々から学んだ日本人の心の大切さを、わかり易くまとめた話題の本です。

A1時代になり、便利で効率の良い事が優先になってきており、時間におわれ心のゆとりがなく、日本人が本来持っていた感性が気づかないうちに変わってきている。空を見上げていますか？虫の声を傾けていますか？心にゆとりを持つことが大切です。しかし、一番大切なことは自分のために生きているかということなど、気づかされる事柄が満載です。

■その他新着本

○アンと幸福 坂木 司

○観覧車 赤川次郎

○櫻がけの二人 嶋津 輝

○さやかに星はきらめき

村山早紀

林真理子

○平家物語 馳 星周

○ロスト・イン・ザ・タワー 真保裕一

○百鬼大乱 宮城谷昌光

○諸葛亮 上・下 小川 糸

○椿ノ恋文 門田隆将

○尖閣1945 佐藤愛子

○想いの肩籠 加藤俊徳

○すごい脳の使い方

加藤俊徳

○ニッポンが壊れる

ビートたけし

○大常識 百田尚樹

○児童図書・絵本

○でておいでねずみくん

○エスカレーターとエレベーター

○クモのつな

○ブラディとトマ

シャルロット・ベリエール

○エッコさん 屋田弥子

○ヌラリヒョン・パパにまかせなさい 富安陽子

○はりねずみのノート屋さん

ななもりさちこ

○ブックキャット

ポリーフエイバー

令和5年度 飯綱町フレンドリーマッチサッカー大会



選手と一緒にFCイヅナを応援する三田選手(写真中央左)

令和5年10月21日(土)、飯綱町ふれあいパーク運動場にて「令和5年度飯綱町フレンドリーマッチサッカー大会」が開催されました。

この大会は、サッカーを通して参加チームとの親睦を図ると共に、技術の向上とフェアプレイの精神を養う事と、サッカーを楽しむ事を目的に開催され、U-12(小学6年生以下)とU-9(小学3年生以下)をそれぞれ2クラスに分け、4コートで実施しました。

当日はコートが分散しましたが、各チーム真剣な応援で、選手も精一杯のプレーを發揮し、大会は盛大でした。

当日までの準備や当日の企画・運営など、指導者及び保護者会の皆様、大変ご苦労様でした。また、選手の皆さん大変お疲れ様でした。

なお、今回は、川口浩昭様(飯綱町野村上出身)のご配慮により、「AC長野パルセイロ 三田尚希(長野県出身)」選手がお忙しいところスケジュールを調整して「FCイヅナ」の応援に駆けつけていただきました。

会場では三田選手の情報を聞きつけた選手やファンが盛り上がり、今回の大会に花を添えていただきました。

残念ながら、FCイヅナ各チームの入賞は叶いませんでしたが、目的であった「サッカーを通して参加チームとの親睦を図ると共に、技術の向上とフェアプレイの精神を養う事とサッカーを楽しむ事」は達成できました。

令和5年度 北部高校生とのマレットゴルフ授業講習の実施

令和5年10月23日(月)、飯綱町ふれあいパークマレットゴルフ場にて「令和5年度 北部高校生とのマレットゴルフ授業講習」が実施されました。

当日のマレットゴルフ授業には、北部高校スポーツウェルフェアコースの2年生19名と先生2名が参加され、飯綱町マレットゴルフ協会の会員の皆さんの温かくユーモアも交えた指導を受け、楽しく有意義な授業が実施されました。



飯綱町マレットゴルフ協会と北部高校生の皆様

今回の授業講習実施で、マレットゴルフへの理解と普及ならびに地元の皆さんとマレットゴルフを通して今まで以上に交流が深まることを期待しています。

講習までの準備や当日の運営(生徒への指導等)につきまして、飯綱町マレットゴルフ協会の皆様、大変お疲れさまでした。

体協試合結果

■子どもの部
第36回信濃町小学生マラソン大会
期日 10月8日(日)
会場 信濃町宮陸上競技場

○1・2年 男子の部
1位 山田 一心
6位 土屋 瑛登

○1・2年 女子の部
1位 中山 怜南
2位 眞鍋 七汐

○3・4年 男子の部
1位 宮原 一篤
3位 笠井 愛菜

○3・4年 女子の部
1位 眞喜志 蓮
5位 山下 結都

○5・6年 男子の部
1位 安達 大翔
2位 仲俣 綾乃

○5・6年 女子の部
1位 山田 あこ
2位 中山 幸穂

○3・4年 男子の部
1位 眞喜志 蓮
2位 眞鍋 七汐

○3・4年 女子の部
1位 中山 怜南
2位 眞鍋 七汐

○5・6年 男子の部
1位 安達 大翔
2位 仲俣 綾乃

○5・6年 女子の部
1位 山田 あこ
2位 中山 幸穂

○3・4年 男子の部
1位 宮原 一篤
2位 笠井 愛菜

○3・4年 女子の部
1位 中山 怜南
2位 眞鍋 七汐

第17回北信州オースタライ小学生野球大会
期日 10月15日(日)
場所 中野市

第5位 上水内オースター

2023年度マルニシCUP第41回長野県小学生バレーボール北信地区大会
期日 10月15日(日)
場所 山ノ内町

○男子の部
優勝 三水ジュニア

東北部スポーツ協会親善バドミントン大会
期日 10月15日(日)
場所 三水B&G体育館

○男子ダブルスの部
1位 高野 裕介

2位 松木 祐也
3位 清水 祐希

○女子ダブルスの部
1位 北村 悠斗

2位 北村 尊
3位 西澤 麻美

第1回飯綱町小学生バドミントン大会
期日 10月15日(日)
場所 三水B&G体育館

○Aクラス
1位 北村 宏斗

2位 石川 任
3位 笠井 萌華

○Bクラス
1位 森本 隆一

2位 山口 大篤
3位 笠井 穂乃

○Cクラス
1位 渡邊 楓

2023年度マルニシCUP第41回長野県小

学生バレーボール長野県大会
期日 10月29日(日)
場所 岡谷市、下諏訪町

○男子の部
準優勝 三水ジュニア

第18回市民タイムス杯小学生バレーボール大会
期日 12月10日(日)
場所 安曇野市

○男子の部
準優勝 三水ジュニア

■大人の部
第17回さわやかマレットゴルフ大会
期日 10月8日(日)
会場 飯綱町ふれあいパークマレットゴルフ場

○男子
1位 荻原 定雄

2位 広田 信光
3位 相澤 廣

○女子
1位 小林 節子

2位 荻原 峯子
3位 塚本真喜子

飯綱町ゲートボール連合秋季大会
期日 10月10日(日)
会場 飯綱町屋内ゲートボール場

優勝 川上(大川)・伊藤信・伊藤秀・杉山・石上)

準優勝 芋川(塚本保・塚本真・滝沢・森戸谷)

3位 普光寺(小林英・小林恵・黒沢・風間・渋沢)

旧牟礼西小学校の

授業風景

いづなコネクトWEST・たかおか

いづなコネクトWEST（旧牟礼西小学校）の貸会議室「たかおか」（旧パソコンルーム）の壁面に飾られている写真です。「1ねんせいパソコンルームでスタディノートをつかって、1年生は昨年、20歳を迎えました。そんなすうの学びあい学習をやったよ。して、「20歳を祝う会」が行われた8月15日、その場所に、タイムカプセルを開封するために集い、再会を喜びました。旧牟礼西小学校は閉校し、いづなコネクトWESTに生まれ変わりましたが、



当時のまま貸会議室「たかおか」の壁面に飾られている写真

学校時代の様子がわかる資料や備品はそのままに、当時の面影を残しています。卒業生やその保護者の方々はもちろん、まったくかわりのない人をもなんだか懐かしい気持ちにさせてくれるいづなコネクトWESTの雰囲気は、そうした面影たちがつくるものなのかもしれませんね。

（三原）

「俳句」

（飯綱俳友会）

カラカラと落葉まろびる夕まぐれ

東 奈々子

湯気昇る妻のさよきお菜洗い

清澤今朝勝

スイツチヨの奏でる音色希少かな

高野 修

足袋底の刺子が奏す母の声

龍野 由子

地下足袋や重き泥着く雨上がり

寺島美恵子

胸元に氏の一と赤い羽根

中嶋 良秋

馬追や音符に書けぬ清きうた

仲俣 一重

はね出しと言って置いてく蜜林檎

日野 秀静

胸元の風さわさわと赤い羽根

前野 泉

寝る間際障子の外からスイーチヨン

山田恭正

「短歌」

三十二の息子逝きしと友の文

天にも届く慟哭聞こゆ

坂井 寿男

りんご取りお手伝いさん賑やかに

休憩タイムお茶飲み楽し

宮本ゆき子

晩秋の高き山々雪化粧

猛暑の夏がうそのようなり

金井 幸江

華やかに彩りくれし花ジニア

霜にやられて茶色になりぬ

町田智頭子

道 ほ 人 た

「季節で風景があまり変わらない地域に住む人は、時間感覚が緩いんだよ。沖縄タイムというものがあるように」。結婚後初めて一緒に里帰りの正月、冬のわりに温暖な気候を感じたようであつた。夫が言いました。

「しかし言われてみると、同じ田舎でも飯綱町は季節ごとの色合いがよりくつきりとしていることに気が付きました。そして、それがこの町の美しさなのだと思います。どの季節も絵になりませんが、なかでも秋のりんごの冬（溶けない雪！）は人々の暮らしと深く関わっていることもあり、季節の色として大きな印象を与えていると感じます。」

住む地域と時間感覚に関係があるのかはさておき、飯綱の長く厳しい冬も美しさの一部だということ、がんばって乗り切ろうと思います。（仲俣）

～さみずっ子保育園紹介～



【れんげ組(0-1歳児)】

さつまいものつるで電車ごっこです。1人2人とお客さんが増えて満員電車になりました。お芋は後日焼き芋にしてもらい、みんな口いっぱいほおぼっておいしくいただきました。



【すみれ組(2歳児)】

『だんごむしロック』の曲でLet's Dance☆ 音楽が聞こえてくるとすぐに反応して踊りだします。ノリノリな姿が可愛いですね。



【たんぽぽ組(年少)】

待ちに待った焼き芋会!煙の匂いや火の温かさを感じながら、「熱いね!」「美味しいね!」と焼き芋を食べました。自分達で育てたさつまいもの味は格別ですね!



【こすもす1組(年中)】

作るの楽しいな!「葉っぱを(紙の)まわりにもはってみたよ!」「緑の葉っぱもあつたよ!」園庭の色とりどりの落ち葉を集めて紙に貼りました!園庭には落ち葉やどんぐりがいっぱい。個性的で素敵な作品がたくさんできました。



【こすもす2組(年中)】

朝、園庭に出ると落ち葉がたくさん!“落ち葉のプールつくりたい!”とみんなで力を合わせて大きな落ち葉のプールを作りました。落ち葉の中で泳いだり、落ち葉のシャワーをしたりととっても楽しそうでした!



【ひまわり組(年長)】
年長児お楽しみ会でおばけやしきを行い、保育園のお友達を招待しました。準備では、絵本を参考にしたり、絵にしてイメージを膨らませたりしてきました。当日では、お客さんの「楽しかった!」「面白かった!」の言葉に子ども達も嬉しそうでした。